

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.57
平成29年6月14日

“みんなが使う物” について考える

～1年生の道徳～

1年生の児童は、学校生活にも慣れ、毎日元気に過ごしています。係活動や地域清掃など、学校の様々な活動に対しても、意欲的に取り組み、約束やきまりを守ろうとする意識も高まりつつあります。しかし、ついつい廊下を走ってしまったり、スリッパをそろえ忘れてしまったりする場面が見られます。そこで、今回の授業では、『きいろいベンチ』という教材を通して、みんなで使う物をどのように使ったらよいかを考えました。

雨上がりの公園に遊びに行った、ともことたかしは、紙飛行機を遠くまで飛ばそうと夢中になって、泥だらけの靴のまま黄色いベンチの上に乗って、ベンチを汚してしまいます。その後、汚れたベンチに座ってスカートが汚してしまった女の子にあばあさんが「まあ、こんなにどろだらけのベンチに座って。スカートが汚れますよ。」と話しかけます。そのとき、ともことたかしは、「はっ」として顔を見合わせます。顔を見合わせたときの二人の気持ちを考え、その理由を話し合うことで、みんなが使う物を大切に、自分もみんなも気持ちよく過ごすにはどうすればよいかを考えることができました。

みんなの意見

- ★みんなの公園だから、きれいに使わないといけない。
- ★みんなできれいに使ったらいいと思う。
- ★みんなが困るから、悪いことはしてはいけない。
- ★二人は、悪いことをしたな、と思ったと思う。



みんなの公園だから、きれいに使わないといけないね。



二人は、悪いことをしたな、と思ったと思います。

